

長崎県知事賞

魅力ある経営体部門 経営強化の部



受賞者名：立川 容介 たちかわ ようすけ

市町名：対馬市

主な取組：3D-GPS と CTD 観測により
アカムツの移動生態を把握して
漁場を選定するスマート漁業を
実現

1. 取組の概要

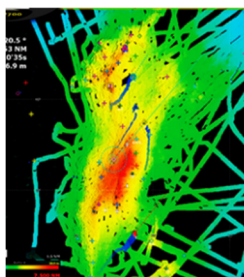
3D-GPS プロッタとレーダーを連動し、自身の漁獲実績の位置を海底の三次元画像上に正確に記録。CTD で観測した底層の水温データを重ねることにより、水温に応じて海底を移動するアカムツの生態も把握。プロッタ画面上に理想の延縄敷設ラインを設定、オートパイロットと連動させて、自動操舵による正確な延縄の敷設と水揚の増大を実現している。

県水産試験場と九州大学が中心となっている海況予測モデルづくりにも参加し、CTD 測定データをリアルタイムで提供するなど、県内漁業のスマート化に欠かせない海況予測モデルの運用に尽力している。

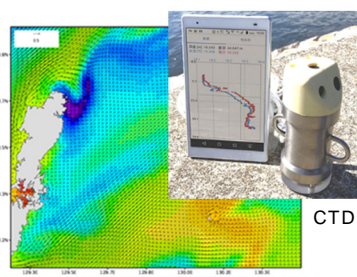
2. 受賞理由

海底地形の情報に水温情報を加えて漁獲対象の生態特性をも把握し、好漁場に集中することにより、1人乗り操業の少ない延縄漁具で効率的に操業するスタイルを確立。経費を抑制した収益性が極めて高い漁業経営を実現している。

最新機器を先駆的に導入した「経験と勘のみに頼らないスマート漁業スタイル」は、同時に「漁労負担と経費を軽減した新しい経営スタイル」でもあり、他の漁業種類にも応用できる延縄漁業の経営モデルとして高く評価されており、スマート漁業の牽引者としての活躍も今後益々期待されている。



3D-GPS 海底画像



海況予測モデル「DREAMS」



第二妙福丸



アカムツ（ノドグロ）